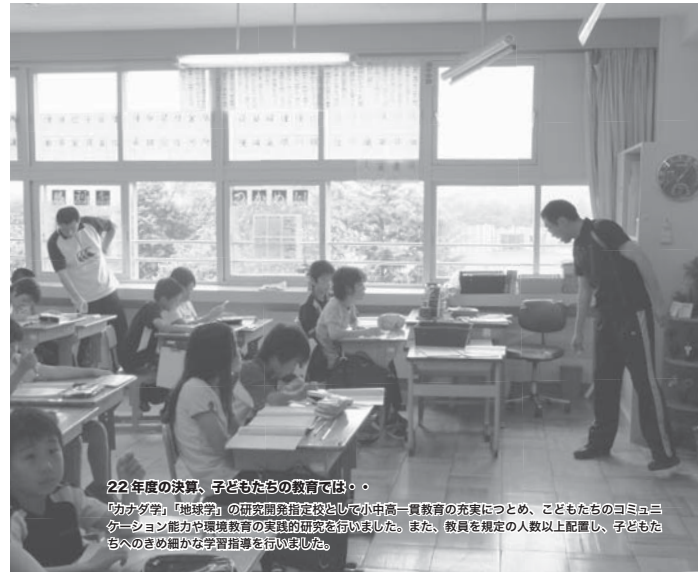
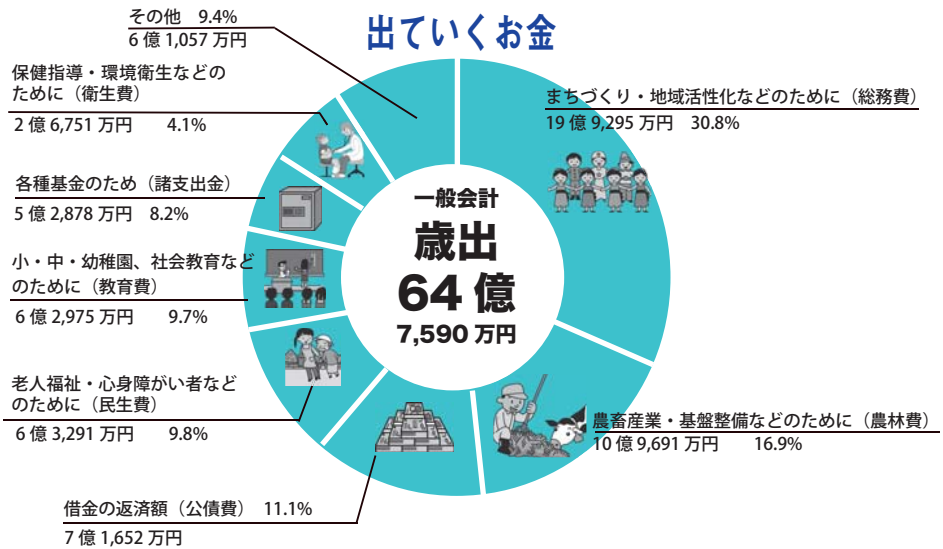
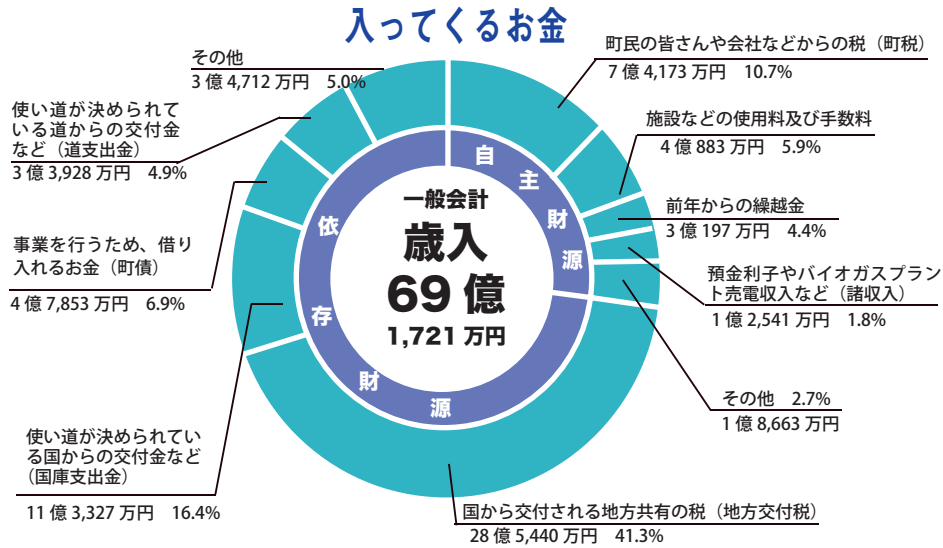


# 効果的な運用で収支残が増



22年度の決算、子どもたちの教育では、「わかたず」の地球学の研究開発指定校として小中高一貫教育の充実につとめ、こどもたちのコミュニケーション能力や環境教育の実践的研究を行いました。また、教員を規定の人数以上配置し、子どもたちへのきめ細かな学習指導を行いました。

第3回9月定例会は、9月6日から27日まで22日間の会期で行われ、地域振興対策などの補正予算9件、条例改正4件、請願など原案どおり全会一致で可決しました。

また、平成22年度の各会計決算も全会一致で認定しました。

## 3億7千492万円の収支残

一般会計の残額
平成22年度の収入と支出の差額
3億7,492万円

＜残額の内訳＞

法律で定められて基金に積み立てる分	2億円
翌年に繰り越される分	1億7,492万円

**ナイター議会で決算の審議**

平成22年度各会計決算について、9月20日決算審査特別委員会（川染洋委員長）で審議されました。

昼間の審議に引き続き、午後6時からナイター議会として審議を再開。水害対策、花と芝生のまちづくり、町の道路整備の状況などの質問がされ、各会計とも効果的な運用であったことを認めました。

22年度決算は、対前年比で見ると歳入では子育て、雇用対策地域資源活用などの地方交付税や国庫補助金の増があり、歳出では普通建設事業などの投資的な経費の減少があり、最終的に3億7千492万円の大幅な収支残となりました。

